



日本財団「海と日本プロジェクト2023」の一環として、山王ひなた美術教室（福岡市 成田 章子主宰）が開催する「海の学び舎」において、今年度も松浦市と共催するプロジェクトがスタートしました。

プロジェクトは、夏休みに開催したA、Bコース、冬休みに開催されるCコースの3つがあり、市内および福岡県近隣の小・中学生

が福島町の旧養源小学校の木造校舎を拠点に、3泊4日でさまざまな体験を行います。

A、Bコースでは、初崎海水浴場で海水浴、土谷棚田で稲刈り体験、鍋串漁港で魚釣り体験、竹を使った流しそうめんを行いました。夜にはグラウンドで野外上映会を行い、最終日はお世話になった校舎を雑巾がけレースで綺麗にしました。

9/9  
(土)

たくましく、のびのびとプレー  
第29回あこう旗争奪ジュニアバレーボール大会



この大会は、鷹島町の住吉神社にある「あこうの樹」（県天然記念物指定）のように少年期をたくましく過ごし、明るく健全な精神を養うため、鷹島町スポーツ少年団育成会と市教育委員会が開催しています。

当日は、市内9チームおよび市外から7チームが出場し、熱戦を繰り広げました。

開催地のチーム「鷹島バレーボールクラブ女子」は、予選グループを1位通過と大健闘、準決勝まで勝ち進みました。

**【優勝】** 大塔女子 JVC **【準優勝】** 宮翔 JVC

8/28  
(月)

安全安心のために活用を

公益財団法人日本公衆電話会 「子ども手帳」贈呈



同会九州統括支部（江崎和人部長）より、犯罪や事故に巻き込まれないための注意点などをまとめた子ども向けの冊子「こども手帳」560冊が市内小学校へ贈呈されました。

これは、公衆電話が災害時に活用できることの認知や啓発などを進める同会が全国的に展開している取り組みの一環です。

子ども手帳は、市内小学校4～6年生を対象に配布され、低学年（1～3年生）向けにDVDも贈られています。

9/10 (日) **文化のかおり立ちこめる**  
第11回文化公演



松浦市文化協会（黒川廣治会長）が主催する公演が文化会館で行われ、新見タカさんによる今福町の民話の語りの後、箏の演奏、詩吟、少林寺拳法、よさこい、コーラス、日本舞踊の発表があり、特別イベントとして、鷹島元寇太鼓保存会による和太鼓の演奏も行われました。また、短歌や俳句、写真や生花、習字の作品も展示されました。

舞台発表では、市内の文化団体が日頃の活動の成果を堂々と発表し、訪れた観客からは、たくさんの笑顔と大きな拍手が送られました。

9/10 (日) **会員が海水浴場を清掃**  
松浦ロータリークラブ（上村幸四郎会長）



同会は大崎海水浴場で海岸のプラスチックゴミを中心に清掃奉仕作業を行いました。

この取り組みは「第2740地区（長崎・佐賀）ロータリー奉仕デー 環境美化プロジェクト」と題し、環境保全とロータリーの公共イメージ向上のため行われています。

当日は朝から15人の会員が参加し、石波止の間隙までくまなく確認しながら、海岸に流れ着いたペットボトルやバケツ、ロープなどを回収しました。

9/18 (月) **市内最高齢！いつまでもお元気で**  
川久保キサさん（104歳）



市は、敬老の日に合わせ市内在住最高齢者の川久保キサさん（志佐・上町）へ花束を贈呈しました。

市内の施設で、毎日好き嫌いなく何でも食べ、おしぼりを畳むなど施設の手伝いなどもしている川久保さん。この日は、家族もお祝いにかけつけ、ひ孫から洋服などのプレゼントを受け取るなど、温かい祝福を受けました。

市内の100歳以上の高齢者は37人（うち女性34人、男性3人）です。（9月18日時点）

9/16 17 **渾身の力作が大集結**  
令和5年度松浦市民文化祭（作品展示）



今年も市民の皆さんの作品が文化会館で展示されました。

会場には、小中学生が夏休みをかけて作った作品、保育園（所）、幼稚園、高校・一般から応募があった書や写真、絵画など約410点の作品が展示されました。

また、隣接会場では、市内小中学生が描いた明るい選挙啓発ポスターが展示され、好きな作品を選んで投票する取り組みも行われました。

2日間合わせて約1,300人が展示された力作を一目見ようと訪れました。